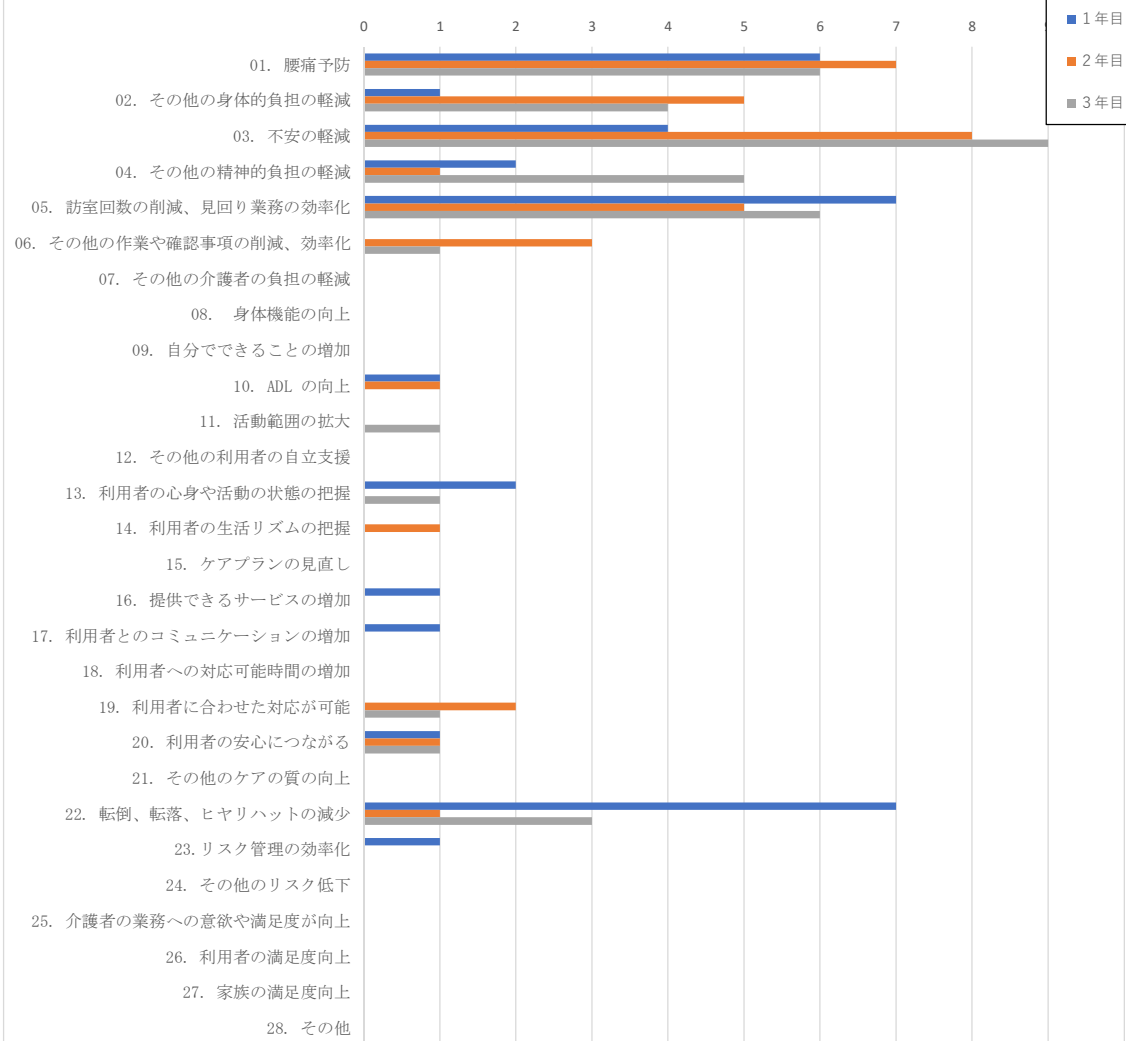


令和元年度介護ロボット使用状況報告

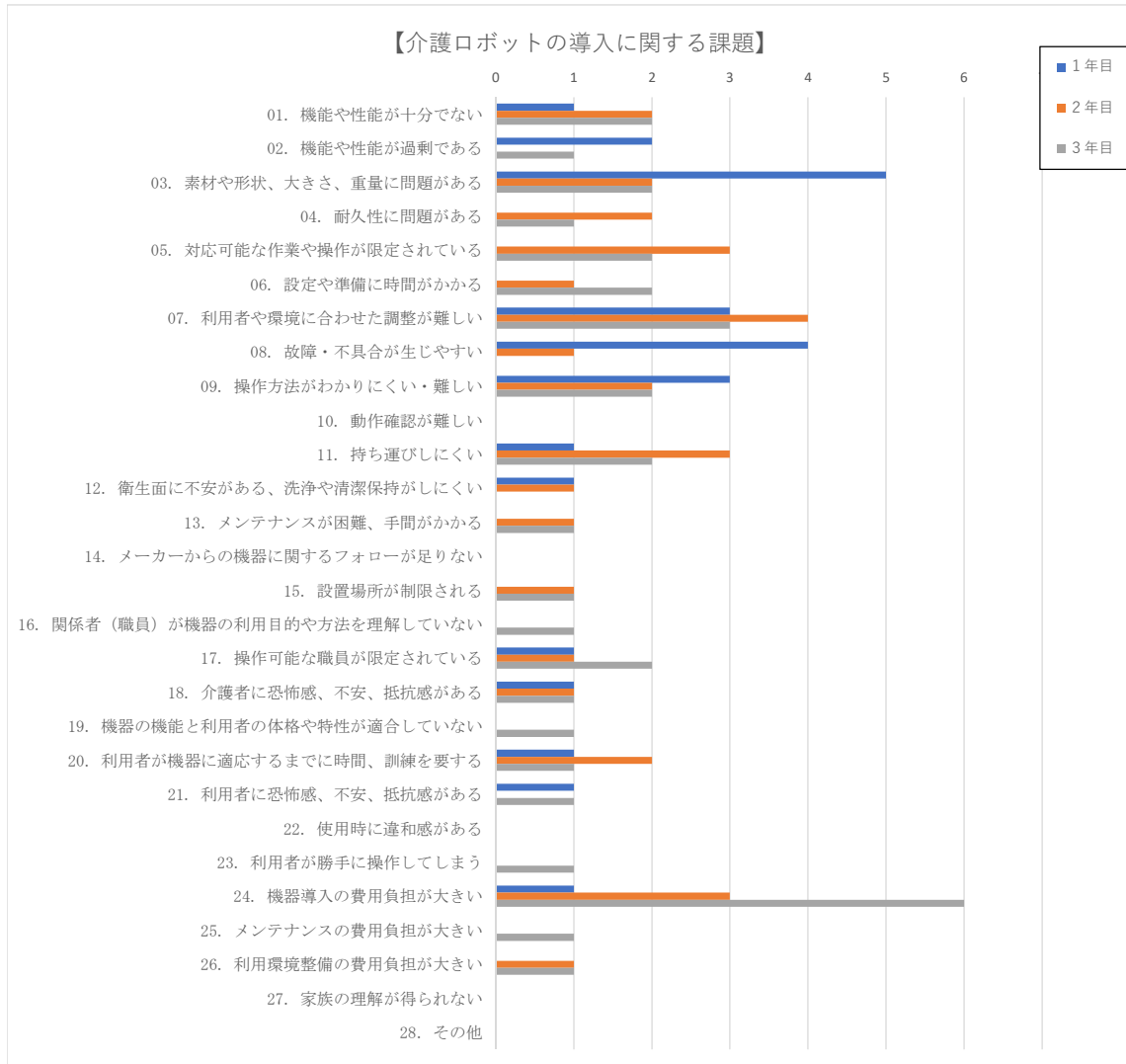
【介護ロボットの導入効果】



区分	1年目	2年目	3年目
01. 腰痛予防	6	7	6
02. その他の身体的負担の軽減	1	5	4
03. 不安の軽減	4	8	9
04. その他の精神的負担の軽減	2	1	5
05. 入室回数の削減、見回り業務の効率化	7	5	6
06. その他の作業や確認事項の削減、効率化	0	3	1
07. その他の介護者の負担の軽減	0	0	0
08. 身体機能の向上	0	0	0
09. 自分でできることの増加	0	0	0
10. ADL の向上	1	1	0
11. 活動範囲の拡大	0	0	1
12. その他の利用者の自立支援	0	0	0
13. 利用者の心身や活動の状態の把握	2	0	1
14. 利用者の生活リズムの把握	0	1	0
15. ケアプランの見直し	0	0	0
16. 提供できるサービスの増加	1	0	0
17. 利用者とのコミュニケーションの増加	1	0	0
18. 利用者への対応可能時間の増加	0	0	0
19. 利用者に合わせて対応が可能	0	2	1
20. 利用者の安心につながる	1	1	1
21. その他のケアの質の向上	0	0	0
22. 転倒、転落、ヒヤリハットの減少	7	1	3
23. リスク管理の効率化	1	0	0
24. その他のリスク低下	0	0	0
25. 介護者の業務への意欲や満足度が向上	0	0	0
26. 利用者の満足度向上	0	0	0
27. 家族の満足度向上	0	0	0
28. その他	0	0	0
合計	34	35	38

※複数回答可

令和元年度介護ロボット使用状況報告



区分	1年目	2年目	3年目
01. 機能や性能が十分でない	1	2	2
02. 機能や性能が過剰である	2	0	1
03. 素材や形状、大きさ、重量に問題がある	5	2	2
04. 耐久性に問題がある	0	2	1
05. 対応可能な作業や操作が限定されている	0	3	2
06. 設定や準備に時間がかかる	0	1	2
07. 利用者や環境に合わせた調整が難しい	3	4	3
08. 故障・不具合が生じやすい	4	1	0
09. 操作方法がわかりにくい・難しい	3	2	2
10. 動作確認が難しい	0	0	0
11. 持ち運びにくい	1	3	2
12. 衛生面に不安がある、洗浄や清潔保持がしにくい	1	1	0
13. メンテナンスが困難、手間がかかる	0	1	1
14. メーカーからの機器に関するフォローが足りない	0	0	0
15. 設置場所が制限される	0	1	1
16. 関係者（職員）が機器の利用目的や方法を理解していない	0	0	1
17. 操作可能な職員が限定されている	1	1	2
18. 介護者に恐怖感、不安、抵抗感がある	1	1	1
19. 機器の機能と利用者の体格や特性が適合していない	0	0	1
20. 利用者が機器に適應するまでに時間、訓練を要する	1	2	1
21. 利用者に恐怖感、不安、抵抗感がある	1	0	1
22. 使用時に違和感がある	0	0	0
23. 利用者が勝手に操作してしまう	0	0	1
24. 機器導入の費用負担が大きい	1	3	6
25. メンテナンスの費用負担が大きい	0	0	1
26. 利用環境整備の費用負担が大きい	0	1	1
27. 家族の理解が得られない	0	0	0
28. その他	0	0	0
合計	25	31	35

※複数回答可